

ISO14001:2015 への移行チェックポイント(DIS ベース)

2015年5月14日作成

ISO14001:2015 箇条	ISO14001:2004 箇条	主なチェックポイント	
4.組織の状況 4.1 組織及びその状況の理解	—	<input type="checkbox"/>	・EMS に影響を与える内部・外部の課題(内部:地域に与える影響等、外部:気候変動、資源の枯渇、顧客要求の変化等)を決定しているか？
4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解	—	<input type="checkbox"/>	・利害関係者及び関連する要求事項を決定し、その中で順守義務となるものを決定しているか？(6.1 項に展開しているか？)
4.3 環境マネジメントシステムの適用範囲の決定	4.1 一般要求事項	<input type="checkbox"/>	・内部・外部の課題(前項 4.1)、利害関係者の要求事項・順守義務(前項 4.2)、組織の単位・機能・物理的境界、組織の活動・製品・サービス、組織の権限・能力を考慮した適用範囲になっているか？ ・著しい環境側面に関連する可能性のある活動、製品、サービスを含めた適用範囲になっているか？ ・利害関係者が、この適用範囲を入手可能としているか？ ・ 文書化した情報を維持しているか？
4.4 環境マネジメントシステム		<input type="checkbox"/>	・規格の意図は変わっていない。(環境パフォーマンス向上を目的とし、プロセス及びその相互作用を含む EMS を確立し、実施し、維持し、継続的改善となっているか？)
5.リーダーシップ 5.1 リーダーシップ及びコミットメント	—	<input type="checkbox"/>	・EMS が組織の事業プロセスと統合しているか？ ・EMS の意図した結果について、トップマネジメントが有効性を検証(=説明責任)しているか？【新たな要求事項】
5.2 環境方針	4.2 環境方針	<input type="checkbox"/>	・組織の状況に固有となる環境保護に対して、コミットメントがなされているか？ ・持続可能な資源の利用、気候変動の緩和と適応、生物多様性・生態系の保護についても考慮しているか？ ・ 文書化した情報を維持しているか？
5.3 組織の役割、責任及び権限	4.4.1 資源、役割、責任及び権限	<input type="checkbox"/>	・管理責任者の用語を削除しているが、規格要求の適合性と環境マネジメントシステムパフォーマンスをトップへ報告する責任と権限を、誰に割り当てるかを明確にしているか？
6.計画 6.1 脅威及び機会に関連するリスクへの取組み 6.1.1 一般	—	<input type="checkbox"/>	・環境マネジメントシステムを計画する際に、内部・外部の課題(前項 4.1)、利害関係者の要求・順守義務(前項 4.2)を考慮しているか？【新たな要求事項】 ・著しい環境側面、順守義務、「脅威及び機会に関連するリスク」を想定しているか？【新たな要求事項】 ・6.1 に示すプロセスが計画通りに実施していることを 文書化した情報として維持しているか？
6.1.2 著しい環境側面	4.3.1 環境側面	<input type="checkbox"/>	・ライフサイクルの視点を考慮しているか？ ・異常かつ潜在的な緊急事態について特定しているか？ ・著しい環境側面を組織の様々な階層、部門に周知しているか？【新たな要求事項】 ・著しい環境側面が「脅威及び機会に関連するリスク」の原因になり得ることを想定しているか？【新たな要求事項】 ・ 文書化した情報を維持しているか？
6.1.3 順守義務	4.3.2 法的及びその他の要求事項	<input type="checkbox"/>	・規格の意図は変わっていない。(組織に対する順守義務の適用としているか？) ・順守義務が「脅威及び機会に関連するリスク」の原因になり得ることを明確にしているか？【新たな要求事項】 ・ 文書化した情報を維持しているか？
6.1.4 脅威及び機会に関連するリスク	—	<input type="checkbox"/>	・取り組む必要のある「脅威及び機会に関連するリスク」を決定しているか？【新たな要求事項】 ・「著しい環境側面」、「順守義務」及び「外部の環境状況」が組織に影響を与えうる可能性を含めて望ましくない影響を防止、又は低減することができるか？【新たな要求事項】 ・継続的改善に結び付いているか？

ISO14001:2015 への移行チェックポイント(DIS ベース)

2015年5月14日作成

ISO14001:2015 箇条	ISO14001:2004 箇条	主なチェックポイント	
			・文書化した情報を維持しているか？
6.1.5 取組みのための計画策定	—	<input type="checkbox"/>	・a)及び b)項について計画しているか？ ・「取組みの EMS プロセスへの統合及び実施」が明確になっているか？【新たな要求事項】 ・「取組みの有効性の評価」をどこで行うのか、計画段階で決定しているか？【新たな要求事項】
6.2 環境目的及びそれを達成するための計画策定 6.2.1 環境目的	4.3.3 目的、目標及び実施計画	<input type="checkbox"/>	・脅威及び機会に関連するリスクを、環境目的を設定する際に考慮しているか？【新たな要求事項】 ・文書化した情報を維持しているか？
6.2.2 環境目的を達成するための取組みの計画策定		<input type="checkbox"/>	・目的達成に向けた進捗監視のための指標が定められ、結果の評価方法を決定しているか？ ・目的達成のための活動が事業プロセスと一体化しているか？ ・文書化した情報を維持しているか？
7.支援 7.1 資源	4.4.1 資源、役割、責任及び権限	<input type="checkbox"/>	・規格の意図は変わっていない。
7.2 力量	4.4.2 力量、教育訓練及び自覚	<input type="checkbox"/>	・環境パフォーマンスに影響を与える業務を行う人に、必要な力量を決定しているか？ ・その人々は力量を備えているか？ ・文書化した情報を維持しているか？
7.3 認識		<input type="checkbox"/>	・認識に「順守義務」を含んでいるか？【2004年版の「自覚」が「認識」となった。】
7.4 コミュニケーション 7.4.1 一般	4.4.3. コミュニケーション	<input type="checkbox"/>	・内部・外部コミュニケーション(内容、実施時期、対象者、方法)のコミュニケーションプロセスを決定し、計画・実施しているか？【新たな要求事項】 ・コミュニケーションには順守義務が考慮され、環境情報の信頼性を確実にしているか？ ・文書化した情報を維持しているか？
7.4.2 内部コミュニケーション		<input type="checkbox"/>	・組織の管理下で働く全ての人が継続的改善に寄与できるようなコミュニケーションプロセスとなっているか？
7.4.3 外部コミュニケーション		<input type="checkbox"/>	・外部にコミュニケーションとして、EMSに関連した情報が含まれているか？
7.5 文書化した情報 7.5.1 一般	4.4.4 文書類	<input type="checkbox"/>	・環境マニュアルの扱いは決まっているか？【2004年版の「環境マネジメントシステムの主要な要素…文書の参照」は削除されている。】 ・環境マニュアルを維持する場合は改訂したか？
7.5.2 作成及び更新	4.4.5 文書管理	<input type="checkbox"/>	・適切な形式・媒体で作成・更新しているか？【紙以外の媒体を使った運用も可能である。】【2004年版の「文書」と「記録」が「文書化した情報」として整理された。】
7.5.3 文書化した情報の管理	4.5.4 記録の管理	<input type="checkbox"/>	・管理の状態は確実か？ ・情報の保護(機密性、完全性)を確実に実施しているか？
8.運用 8.1 運用の計画及び管理	4.4.6 運用管理	<input type="checkbox"/>	・EMS 要求事項を満たすため、並びに前項 6.1「リスク及び機会への取り組み」及び 6.2「環境目標及びそれを達成するための計画策定」で決定した取組みを実施するために必要なプロセスを、計画、実施、管理しているか？【新たな要求事項】 ・著しい環境側面だけでなく、「著しい環境側面」(6.1.2)、「順守義務」(6.1.3)、「脅威及び機会に関連するリスク」(6.1.4)、「環境目的」(6.2.1)、「環境目的を達成するための取組み」(6.1.2)等のプロセスを確立しているか？【新たな要求事項】 ・2004年版の供給者、請負者への伝達を具体的に「ライフサイクルの視点」から実施しているか？

ISO14001:2015 への移行チェックポイント(DIS ベース)

2015年5月14日作成

ISO14001:2015 箇条	ISO14001:2004 箇条	主なチェックポイント	
			<ul style="list-style-type: none"> ・外部委託先の管理が著しい環境側面に限定されずに自ら決定しているか？【新たな要求事項】 ・影響を及ぼす環境側面を製品、サービス、調達先、委託先から抽出しているか？【新たな要求事項】 ・「プロセスが計画通りに実施されたという確信をもつために必要な程度の、文書化した情報を維持しているか？」
8.2 緊急事態への準備及び対応	4.4.7 緊急事態への準備及び対応	□	<ul style="list-style-type: none"> ・規格の意図は変わっていない。
9.パフォーマンス評価 9.1 監視、測定、分析及び評価 9.1.1 一般	4.5.1 監視及び測定	□	<ul style="list-style-type: none"> ・監視、測定として、「著しい環境影響を与える可能性がある業務」、「順守義務」、「運用管理」、「指標を用いた組織の環境目的に対する進捗」を対象としているか？ ・適切な「指標」を使用して、組織の環境パフォーマンスを評価するための基準を定め、マネジメントレビューのインプットとしているか？ ・文書化した情報を維持しているか？
9.1.2 順守評価	4.5.2 順守評価	□	<ul style="list-style-type: none"> ・順守評価のタイミングの頻度を決定しているか？【順守評価のタイミングが2004年版の「定期的」から「頻度を決定」となった。】 ・順守評価者の力量を決定しているか？【新たな要求事項】 ・文書化した情報を維持しているか？
9.2 内部監査	4.5.5 内部監査	□	<ul style="list-style-type: none"> ・監査プログラム策定に関し、関連するプロセスの環境上の重要性、「脅威及び機会に関連するリスク」を考慮しているか？ ・客観性、公平性を確保できる監査員を選定しているか？自部門を監査しない等の監査員の配置を考慮しているか？ ・文書化した情報を維持しているか？
9.3 マネジメントレビュー	4.6 マネジメントレビュー	□	<ul style="list-style-type: none"> ・EMSに関連する外部及び内部の課題や順守義務、環境側面、リスク等の変化を考慮しているか？ ・「外部及び内部の課題」、「脅威及び機会に関連するリスク」、「必要な資源の妥当性」を考慮しているか？ ・アウトプットとして「必要な場合には、目的が達成されていない場合の処置」を指示しているか？ ・文書化した情報を維持しているか？
10.改善 10.1 不適合及び是正処置	4.5.3 不適合並びに是正処置及び予防処置	□	<ul style="list-style-type: none"> ・是正処置では、類似の不適合の有無、又はそれが発生する可能性を明確にしているか？ ・文書化した情報を維持しているか？
10.2 継続的改善	—	□	<ul style="list-style-type: none"> ・「組織の環境パフォーマンスを向上させるために、EMSのパフォーマンスを監視して、EMSの適切性、妥当性及び有効性を継続的な改善に結び付けているか？【新たな要求事項】